



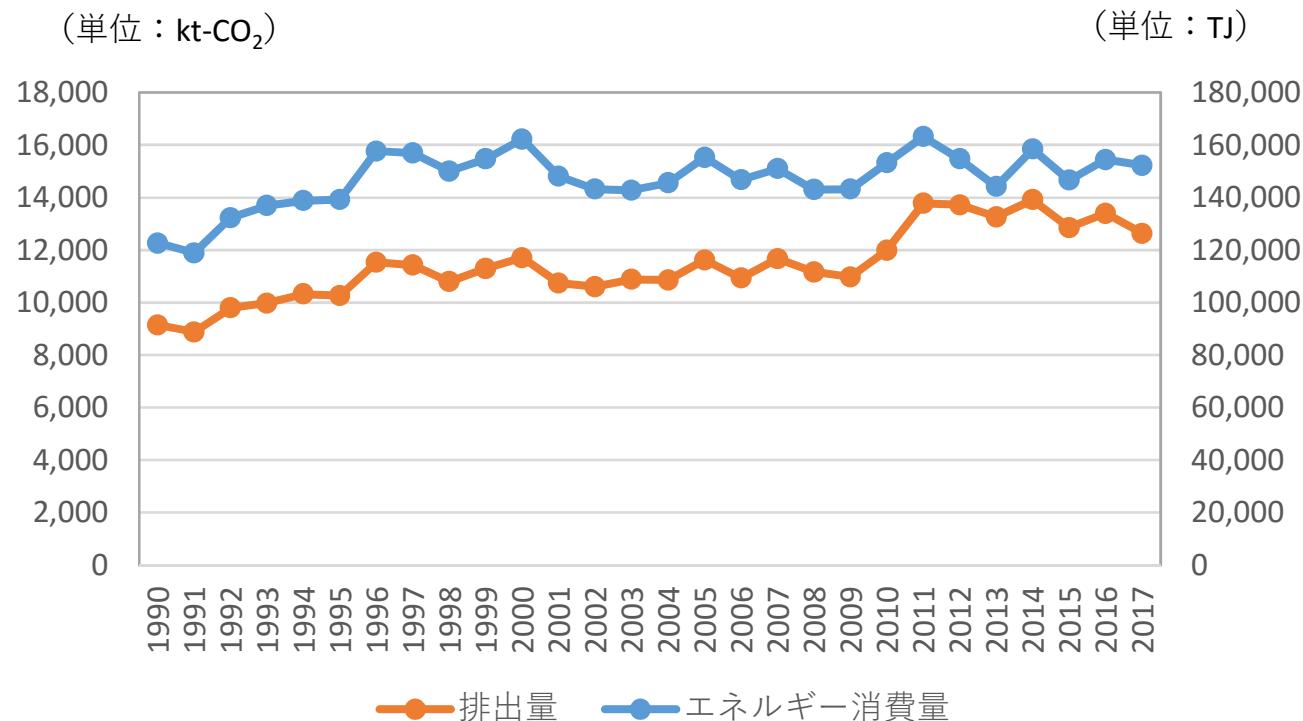
資料3-1

北海道の家庭部門におけるCO₂排出量の動向

令和2年1月16日
北海道地方環境事務所 環境対策課

北海道地方のエネルギー消費量及びCO₂排出量の推移

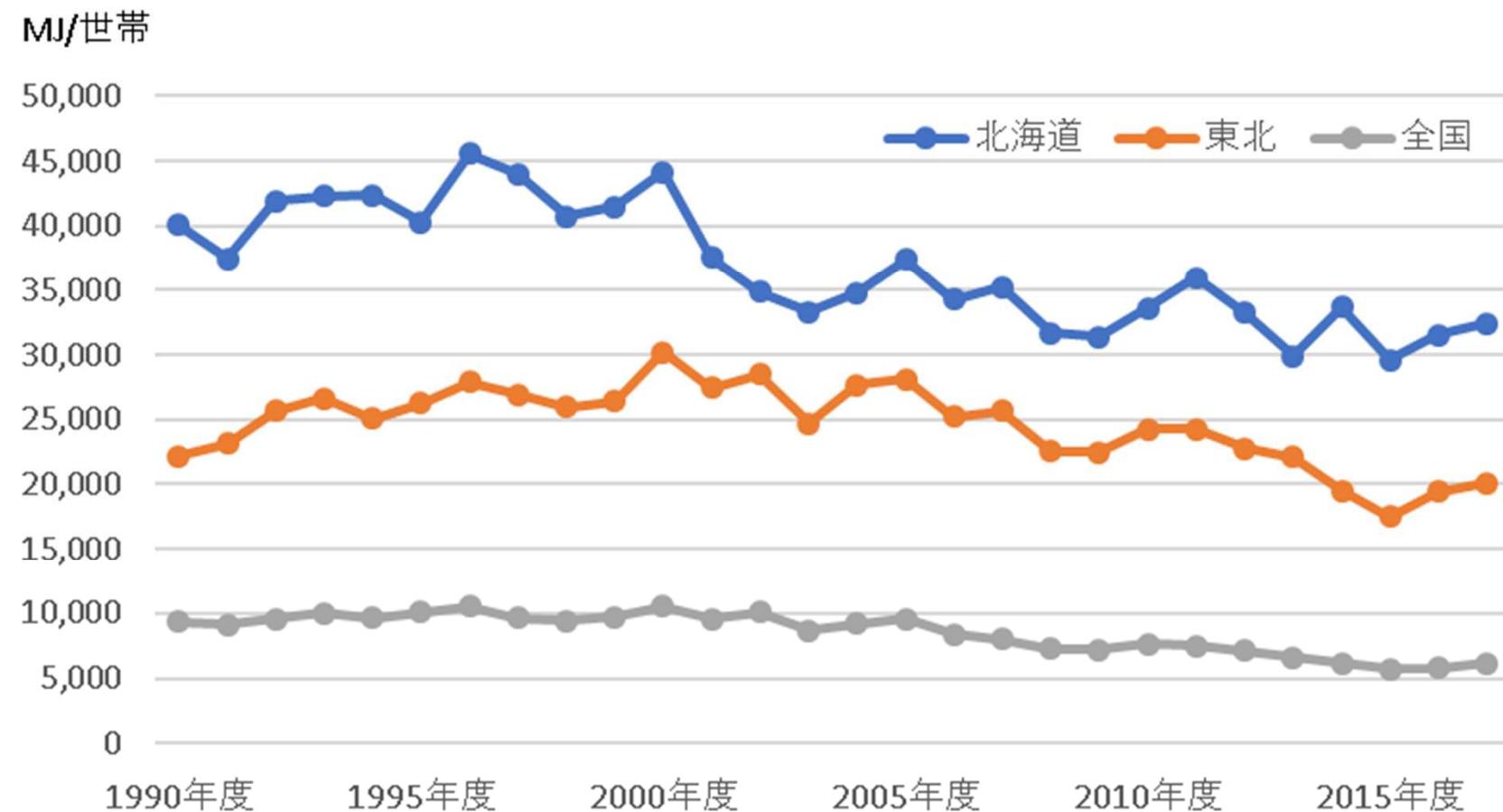
- 北海道地方の家庭部門における最終エネルギー消費量は近年横ばいで推移し、2017年度は152,200TJとなっている(2005年度比2.0%減、2013年度比5.6%増、前年度比1.4%減)。
- 北海道地方の家庭部門におけるCO₂排出量は2011年度以降、東日本大震災の影響による原発停止で電力のCO₂排出係数が悪化したことで増加傾向を示していたが、2013年度以降は微減～横ばい傾向にある。2017年度の排出量は1,300万tCO₂となっている(2005年度比8.8%増、2013年度比4.7%減、前年度比5.7%減)。



<出典>温室効果ガス排出・吸収目録(国立環境研究所)、総合エネルギー統計(資源エネルギー庁)をもとに作成

家庭における灯油消費量の推移（年推移）

- ◆ 家庭における灯油の消費量は、中期的には減少傾向
- ◆ 東北地方を含めた全国に比べて、北海道の世帯あたりの灯油消費量は高い



家庭における灯油消費量の推移（月別）

- ◆ 家庭における灯油の消費量は、暖房需要の高まる冬期に上昇
- ◆ 東北地方を含めた全国に比べて、北海道の世帯あたりの灯油消費量は高い
- ◆ 2010年度→2017年度の推移では、東北地方を含めた全国的に、世帯あたりの灯油の消費量が下がっている傾向が見られるが、北海道においてはあまり変化が見られない
(ただし、灯油消費量は気候等に影響するため理由の特定は困難)

